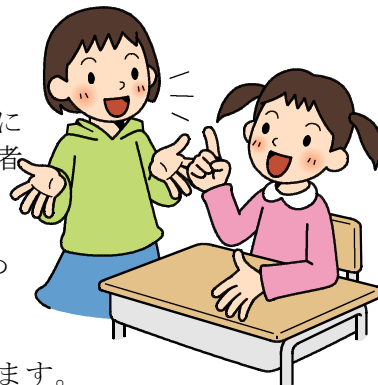




輝け！北っ子！

学校だより「輝け！北っ子！」発行の思い ～学校の思いも届けたい～

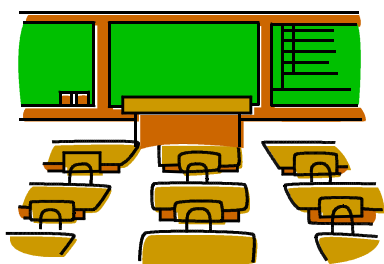
いつも、学校だよりを読んでいただきありがとうございます。励ましのお言葉などをいただくこともあり、とてもうれしく思っています。学校だよりは学校の活動・行事等の様子を保護者の皆さんにお知らせすることで、学校への理解を深めていただき、学校と保護者が連携して子どもの教育に当たることができるようにしたいという思いから発行させていただいております。保護者・地域・学校をつなぎ、「子どもの豊かな成長」という共通の目標に向かうための一つのツールであると考えています。ですから、保護者の皆さんには、できるだけ読んでいただきたいと思い、全員に確実に届けられる、子どもを通しての「紙媒体」での配布にあえてさせていただいております。



手間などを考えれば、HPの掲載のみということも考えられますが、「確実に」「全保護者に」と届けたいので、今のところ紙媒体での配布にこだわっています。（今後、ICT機器の活用などで確実に届けられる、見ていただけるようになれば話は変わってくるようにも思いますが・・・）

また、学校だよりの発行に当たっては、「学校の思い」を伝えたいという一面もあります。コロナ禍で保護者の方と直接お会いする機会はぐんと少なくなっています。また、「例年通り」といった活動はほとんどないと言ってもいい状況にあります。さらには、学校によって対応が違うということもよくあります。この状況下、北小の子どもたちにとって「何が正解か」ということは分からない状況ですが、どうしてそう判断したかについてはできるだけ伝えようと思っています。判断に至る「学校の思い」も伝えたいと思うのです。その手段が現在のところは「学校だより」になっているということです。

仕事、家族構成、環境・・・保護者の皆さんを取り巻く状況はそれぞれ違います。違いがあれば当然、学校の判断に「？」と思われる方、自分の思いとの違いを感じている方もいらっしゃることは当然であると思っています。「みんな違って みんないい」いろいろな考え方があることが普通で、それでいいと思っています。ただ、学校は保護者の皆さんの状況を考慮はしても、最終的には、「子どもにとってどうか」を最優先に「最適解」を目指して活動・行事を考えながら対応・判断しているつもりであることはご理解ください。だから、学校としての思いも学校だよりの中で紹介させていただいています。もちろん、出せる情報（出すべきと判断する情報）、出せない情報（出すべきではないと判断する情報）はありますが、できるだけ多くの学校だよりの発行を通して、学校の理解を深めていただきたいと思っています。



コロナ禍の中、学校も家庭も大変な状況に変わりありませんが、子どもの豊かな成長に向けてご意見等ありましたら、どんどんお寄せいただければと思います。

また、いろいろな専門機関、行政など相談できる場所はたくさんあるとは思いますが、子どもに関すること、学校に関することはやはり担任・学校が一番分かっているつもりです。まずは担任・学校にご相談ください。本校には、力のある先生方がそろっています。そして、本校は保護者の皆さんとの信頼関係をベースに、いつでも、何でも気軽に相談できる、敷居の低い学校を目指していきます。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）

----- 切り取り線 -----